



富士山噴火は土壤、農業へどのような影響を与えたのか — 学際的視点からみる関東南部 —

日時：2018年8月31日（金）9:30～12:30

場所：日本大学生物資源科学部 2号館 2階 221講義室

主催：日本土壤肥料学会

共催：日本ペドロロジー学会

入場無料・事前登録不要

-
- ▶ 南関東の黒土層と火山灰土の形成に関与した富士山の火山活動
町田 洋（東京都立大学名誉教授）
 - ▶ 第四紀の土壤生成史を考える視点
— 南関東の土層堆積過程と環境変動との時系列関係および空間分布 —
三浦 英樹（国立極地研究所）
 - ▶ 関東南部の火山灰土壌における粒径組成と風化程度
竹迫 紘（明治大学黒川農場）
 - ▶ 富士山宝永噴火被災地における農地の復旧
— 江戸時代における天地返し事例 —
天野 賢一（公益財団法人かながわ考古学財団）
 - ▶ 神奈川の都市農業と火山灰土壌
— 環境保全型都市農業の実践に向けて —
北 宜裕（日本大学生物資源科学部）
 - ▶ 総合討論（座長団：隅田裕明¹，川東正幸²，井上 弦³，小林孝行¹）
1: 日本大学，2: 首都大学東京，3: 神奈川県農業技術センター